

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日 から 平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 まつもと子ども留学基金

1 事業の成果

- ・ 原発事故による被曝を避けるために、女子中学生3名が寮生活を送り、男子中学生2名はホームステイ型の生活によって地域の学校に通学。中学校を卒業した女子2名は松本市内の高校に進学して、引き続き寮生活を送ることができるようになった。
- ・ 通年保養及び現地見学会の実施により、被災地の住民が寮に滞在して、放射能影響の低い地域で一定期間過ごすことができた。きれいな水・空気のある豊かな自然環境の中で子どもたちが安心してのびのびと体を動かす機会になり、被曝低減また心身のリフレッシュに繋がっている。また、汚染地から物理的に離れることで汚染の状況に対して客観的に考えることができ、孤立しがちな保護者同士の交流親睦及び放射能影響地域外の支援者等との繋がりをつくる機会になった。
- ・ 自主避難者の借上げ住宅支援打ち切りにより、長野県外から松本市内に移住を決定した家族に新天地での生活をスタートさせるためのサポートを行なってきた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	A 当該事業の実施日時 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 受益対象者の範囲 E 人数	事業費の金額 (単位:千円)
1 留学事業	原発事故による避難先として、健全な生活環境を提供するための寮の運営	A 通年事業 B 松本市四賀地区 C 20名	D 東日本大震災により被災した子ども E 5名	
	小児科医師による健康相談事業	A 平成28年12月 B 松本市四賀地区 C 5名	D 東日本大震災により被災した子どもと市民 E 20名	
	学習サポート事業	A 通年 B 松本市四賀地区 C 10名	D 東日本大震災により被災した子ども E 5名	
2 体験活動事業	保養及び現地見学会	A 通年 GW5/30~5/5 夏期 7/24? 8/2 見学会 8/18~8/22 見学会 9/17~9/19 秋期 10/8~10/10	D 東日本大震災により被災した子どもと市民 E 70名	

		冬期 12/20~12/24 春期 3/24~3/23 B.松本市四賀地区、 松本市、安曇野市 C. 20名		
	学習会 ・自然療法講座 ・非電化ワークショップ	・自然療法講座 A 10月22/23日 B 松本市四賀地区 ・非電化 A 2月12日 B 島立公民館 C.10名	D. 不特定多数 E.50名	
	・卒業旅行 ・夏のキャンプ	・卒業旅行 A 平成29年 3月21/22日 B 伊勢, 志摩 ・キャンプ A 8月 B 長野県内 C 5名	D.寮生 E.5名	
3 里山地域の 保全に関する事業	寮敷地内及び周辺環境 整備	A 通年 B 松本四賀地区 C.10名	D 東日本大震災により被災 した子どもと 市民 E 10名	
4 調査研究、 講師派遣事業	他地域の取り組みについて調査研究及び本取り組みについての講演会及び 現地説明会活動 a. 講演会活動 ・NPO 法人講座 ・和光学園講演会 ・宗玄寺講演会 ・パルシステム講演会 ・ビーハラ長野 b. 保養相談会 c. 現地説明会 d 交流会 ・うけいれ全国 ・ほようかんさい ・ほよっと全国交流会	A 通年実施 B 福島、長野、関東 関西 C 10名	D 不特定多数 E 300名	

(2) その他の事業（特定非営利活動に係る事業以外の事業）

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の 金額 (単位：千円)
物品販売事業	実施なし	実施なし	

